

# 知的障害特別支援学校における

## 一人一人の実態に応じた国語科の指導

—新学習指導要領に基づく

「指導内容設定に生かす実態把握表」の作成を通して—

長期研修員

松永 和明

### 一人一人の実態に応じた知的国語科の指導

一人一人の実態に応じた  
具体的な指導内容の設定

学びの記録  
を残していく  
ことで

次の学びの  
**方向性**  
が見えてくる

適切な  
**実態把握**  
が可能になる  
ことで

実態を捉えた  
**指導内容**  
が明らかになる

知的国語科の  
**内容の  
確かな理解**  
が進むことで

知的国語科で  
**何を教えるのか**  
が明確になる

子供の学びの  
深まりや  
広がりに向けられる

できることが  
もっと上手になる  
新しいことが  
できるようになる

子供の  
ニーズに  
応えていると  
いう手応え

主体的に  
取り組める  
ようになる

学習活動や  
教材に  
自信がもてる

学習のめあてが  
明確になる

「指導内容設定に生かす実態把握表」が目指すもの

授業を行う教師は...

子供にとっては...

中学部に二つの  
段階が新設

内容がより充実

**新**

学習指導要領を基に

「指導内容設定に生かす実態把握表」を作成

知的国語科では何を教  
えるのか、内容の理解  
を確かなものにした

一人一人に  
応じた指導を  
行いたい

学習の  
積み重ねを  
大切にしたい

難しさは  
あるけれど...



課題と要因

知的障害特別支援学校の  
教科指導の難しさ

- 授業の根拠に不安が...
- 子供の実態に合ってる？

現行の学習指導要領に示された  
知的各教科の内容の特徴

- 大綱的な記述
- 段階別で系統的な表記
- 小・中学校にはない内容

「指導内容設定に生かす実態把握表」(本表)

知識及び技能 言葉の特徴や使い方に関する事項

事項	言葉の働き
段階	小学部1段階
内容	(ア)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していると感じること。
内容の捉え	・日常生活で繰り返される出来事や興味や関心のある事柄について、教師など身近な大人の話し掛けに耳を傾け、人との関わりの中で言葉が用いられていることに注意を向けられるようになり、やりとりを繰り返す中で、「ママ」や「リング」などの言葉と事物が一致させられるようになってきたり、アワーなどの自分なりの表現で相手に要求が伝わることで、心地よい感情をもったりできるようになること。

子供の姿の例	①スプーンのような毎日使う物について、名前と物が一致している。(教師との言葉のやり取りの中で、徐々に言葉と事物が一致していく。) ②おもちゃなどの欲しいものがあつたときに教師を見るなどして「アアア」などと声を出し、要求がかなうと教師を見たり笑顔になったりする。(教師に要求を伝えたとときに、教師が反応すると声を出すのをやめたり、笑顔になったりする。) ◎2つの内1つができています。 ○2つの内1つがだいたいできています。
--------	--

実態把握の結果 身に付いている ◎  
身に付けつつある ○

学部 学年	年度 初	年度 末	内容が身に付いたときの 指導の様子(一言評価)
	◎		リンク

以下は授業構想で使用する

指導内容の例	周囲の人の会話に注意を向けること 言葉と事物の一致 / 自分なりの表現で伝えること
指導につながる留意点	・教師などの身近な人との関わりの中で言葉が用いられていることに注意を向けられるようにする。 ・言葉のやり取りを通して、言葉と事物との一致が少しずつ図れるようにする。 ・自分なりの表現を大切に、これを繰り返す中で要求が相手に伝わると心地よいと感じられるようにする。 ・日常生活や遊びの中で教師の話し掛けに振り向いたり、応じたりすることを繰り返す中で、相手に対して音声模倣などによる発声や発語によって自分なりの表現ができるようにすることを大切にすること。

内容の捉え

新学習指導要領解説を基に各内容をより分かりやすく表現!

内容の  
確かな  
理解

子供の姿の例

子供の日常の姿に照らして各内容の定着状況を判断!

適切な  
実態把握

実態把握の結果

実態把握の結果や授業での様子を複数年度にわたって記録!

学びの  
記録

「指導内容設定に生かす実態把握表」(実態把握結果一覧)

指導内容	年度初	年度末	指導の様子
指導内容	◎		
指導内容			
指導内容			
指導内容			

◎は水色 ○は桃色  
△は黄色で示される。

「指導内容設定に生かす実態把握表」(実態把握結果一覧)

「実態把握の結果」とリンクしているので全結果を一望!

実態に応じた具体的な指導内容の設定

一人一人の実態に応じた知的国語科の指導

成果	「指導内容設定に生かす実態把握表」を用いて知的国語科の各内容に係る実態把握を行うことで、子供が今学ぶのにふさわしい、一人一人の実態に応じた指導内容を設定することができるようになった。
課題	よりの確な実態把握と指導内容の設定ができるように「子供の姿の例」の改善を今後も続けていく必要がある。
提言	知的障害特別支援学校における教科指導の充実を図るために、新学習指導要領にある各内容を深く理解し、適切な実態把握を行い、一人一人の実態に応じた具体的な指導内容を設定していきましょう。